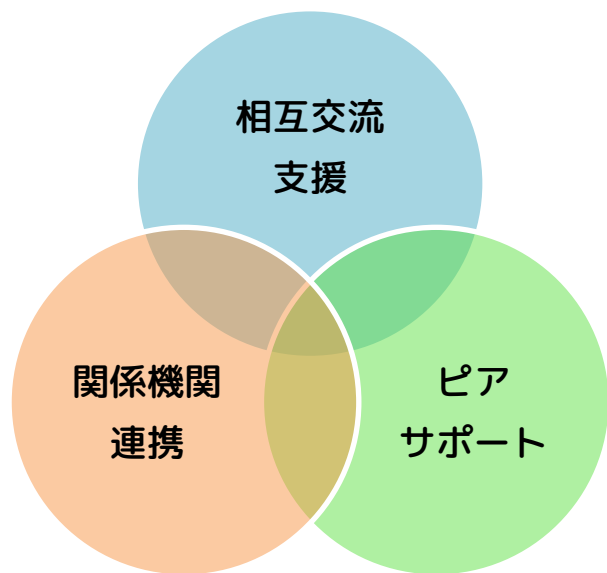


岡山市小児慢性特定疾病児童等 相互交流支援事業とは

この事業は長期にわたり療養を必要とする子ども同士の交流や、ボランティア等と交流・学習支援、ピアサポート相談の機会を作ることで、情報交換やコミュニケーション等の向上による社会性を育み、子どもたちの健全育成と自立促進を図ることを目的として実施しています。



支援員及びボランティアによる相互交流支援を通じて、退院後の復学や生活の不安解消などを目的とした『ピアサポート』も行います。



◆ 交流支援拠点 ◆

◎ポケットサポート事務局

日時：水曜日 午後1時～5時

住所：岡山県岡山市北区奥田本町 22-2

※交流支援拠点は変更になる場合があります。
下記【ポケットサポート事務局】に記載している
電話・ホームページで予めご確認ください。



▲ポケットサポート事務局の外観

認定特定非営利活動法人ポケットサポート事務局

住 所：岡山県岡山市北区奥田本町 22-2

電 話：086-289-8528

メール：info@pokesapo.com

ホームページ：https://www.pokesapo.com/

2020年1月改訂版

岡山市小児慢性特定疾病児童等 相互交流支援事業

ご案内パンフレット



病気を抱える子どもたちが
安心して交流や相談できる場所

この事業は岡山市が認定特定非営利活動法人
ポケットサポートへ業務委託して実施しています。

相互交流支援ってどんなことするの？



< 相互交流支援 >

同世代の子ども同士や、療養経験のある支援員・ボランティアと交流する場です。知育ゲームで遊ぶ、宿題をするなど、様々な交流ができます。

< ピアサポート >

児童・青年期に小児慢性特定疾病の療養経験がある支援員が、子どもたちと交流の中で学習や友人関係、病気に関する悩み相談を聞いています。



< 関係機関連携 >

岡山市の小児慢性特定疾病自立支援員、保健師等と連携しながら、子ども一人ひとりに応じた支援を検討していきます。



交流場所には、どんなスタッフがいるの？

支援員

病気を抱える子どもの交流支援・学習支援に関わった経験があり、自身も児童・青年期に小児慢性特定疾病の療養経験がある者です。

ボランティア

特別支援学校の教員や病棟保育士・看護師を目指す学生で、定期的な研修を受講している子どもの支援に熱意と理解がある者です。



交流支援拠点での活動には看護師や保育士の資格保有者配置や、車椅子用昇降機も設置しており、子どもたちが安心して交流できる環境づくりに取り組んでいます。

運営しているのは、どんな団体なの？

団体名：認定特定非営利活動法人ポケットサポート
所在地：岡山県岡山市北区奥田本町2-2-2
代表者：代表理事 三好 祐也

設立：平成27年11月11日
認定：平成30年4月13日



代表理事
三好 祐也

5歳で慢性のネフローゼ症候群を発症義務教育のほとんどを病院で過ごす岡山大学大学院保健学研究科修士課程修了病気の子どもたちの教育支援について研究自身の経験を通じて10年以上にわたり、病弱児の学習・復学などの自立支援と環境理解のための講演活動を行う。

ポケットサポートでは病気の子どもとご家族が、笑顔で安心して暮らせる地域や社会の実現を目指して学習復学支援、相互交流支援、機関連携・啓発活動に取り組んでいます。

スムーズに
復学できるよう
助言や継続的な支援

学習・
復学支援

病床や自宅への家庭訪問
テレビ電話を使った
学習支援事業

各種相談
機関連携

交流
イベント

同じ思い・
経験をした
子どもたちや
家族同士が交流

心のケア、
進学相談など
個別相談と
関係機関との連携

